

〔テーマ〕 基準Ⅲ－B 物的資源

(a) 要約

本学の校地は 22,431.84 m²、校舎は 6,806 m²であり、「短期大学設置基準」を満たしている。主要建物は 1～4 号館の 4 棟であり、講義室 8、演習室 4、実験実習室 7、情報処理室 2 を有し、体育館およびテニスコートなどの運動場を有する。障がい者に対応する設備の補充は難しい現状であるが、教育設備に関しては整備されている。

図書館は、面積 (552 m²)、座席数 (95 席)、蔵書 44,599 冊、学術雑誌 129 タイトル、AV 資料などの視聴覚資料 629 点を有しており、学生の学習にとって必要な環境を整えている。また、図書館の運営・管理は、学校法人近畿大学における諸規程に基づき、適切に行われている。

施設設備の維持管理は、「学校法人近畿大学経理規程」「学校法人近畿大学物件管理規程」「学校法人近畿大学物件調達規程」(備付資料 47) などに基づき、適切な処理が行われている。消防計画の策定、消防設備の定期点検および消火器訓練の実施などの火災対策、業務委託した警備会社警備員による構内巡回、防犯カメラによるモニタリングなどの防犯対策を実施している。コンピュータシステムは、ウイルス防止システム、ファイヤーウォールの設置などのセキュリティ対策が講じられている。本学の教職員、学生は、省エネルギー対策などの地球環境保全活動にも積極的に取り組んでいる。

(b) 改善計画

本学は、校地・校舎ともに「短期大学設置基準」を満たしている。今後も、本学が所有する物的資源をより効率的に運用することを検討していきたい。また、地震対策、防犯対策に関する規程を整備し、障がい者に対応する設備の補充についても検討する。

[区分]基準Ⅲ－B－1 学科・専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて校地、校舎、施設設備、その他の物的資源を整備、活用している。

(a) 現状

本学の校地は、以下の表Ⅲ－8に示すように、22,431.84 m²、校舎は 6,806 m²であり、「短期大学設置基準」を満たしている。主な校舎は1～4号館の4棟であり、講義室8、演習室4、実験実習室7、情報処理演習室2を有している(表Ⅲ－9参照)。さらに、体育館、テニスコートなどの体育・スポーツ施設を有する。グラウンドについては、必要に応じて近隣の近畿大学産業理工学部グラウンドを共通利用している。

現在障がいをもった学生は在籍していない。校舎の各館1階や体育館入り口におけるスロープの設置などの配慮はしているが、丘陵地である敷地に校舎が建設されていることから、障がい者に対応した施設・設備とは言い難い。

講義室、演習室にはマイク、プロジェクター、AV機器を備えつけている。演習室も授業内容に対応した機器備品を整備している。さらに、すべての講義室、演習室には、学内LANケーブルが敷設してあることにくわえ、平成24(2012)年度からは、体育館、附属幼稚園、学生食堂を除くキャンパス内での無線LAN利用が可能になった(備付資料39)。

本学は、保育科、生活福祉情報科の2学科からなる通信教育部を併設している。そこで使用する印刷教材などの保管・発送、各種事務処理、レポート課題の受け入れ・発送、科目終末試験の実施などは、通信教育事務課の職員によって行われている。学生に対するレポート添削など、科目担当者である教員による日常的な指導(質問などへの対応)には、電子メールが用いられている。スクーリング時には、講義室や科目担当者の研究室が使用されるため、学習指導のために特別な施設は必要としない。また、印刷教材などの保管・発送のための施設として1号館1階に「通信教育倉庫」を有している。

表Ⅲ－8. 校地等の面積

校地等	区分	専用 (m ²)	共用 (m ²)	共用する他の学校等の専用 (m ²)	計 (m ²)	基準面積 (m ²) [注]	在籍学生(176名)一人当たりの面積(m ²)	備考(共有の状況等)
	校舎敷地	21,051	0	0	21,051	2,400	131.04	
	運動場用地	0	2,012	0	2,012			幼稚園と共有
	小計	21,051	2,012	0	23,063			
	その他	1,380.84	0	0	1,380.84	2,400	681.75	
	屋外運動場	0	118,607	0	118,607			産業理工学部と共有
	合計	22,431.84	120,619	0	143,050.84			

表Ⅲ－9. 講義室等の概要：() は収容人数

講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習室
8	4	7	2
1450 教室 (120) 2212 教室 (14) 2250 教室 (144) 2311 教室 (71) 2315 教室 (81) 2350 教室 (56) 4250 教室 (117) 4350 教室 (239)	3202 音楽レッスン室 3203 音楽レッスン室 3204 音楽レッスン室 3302 リズム教室 (56)	1401 染色実習室 1402 調理実習室 入浴実習室 2150 介護実習室 (30) 2215 共通実習室 (44) 図画工作実習室 1 階 (60) 図画工作実習室 2 階 (60)	2415 情報処理演習室 (50) 2450 演習室 (32)

図書館は、1号館2階にあり、面積552㎡、座席数95席である。平成24(2012)年度末現在、表Ⅲ－10に示すように、蔵書数44,599冊、学術雑誌129タイトル、AV資料などの視聴覚教材629点を蔵している。また、保育科の実習で使用する紙芝居、大型絵本などの領域別関連図書も充実している。なお、学生一人当たりの図書は185.5冊、学術雑誌0.5種、視聴覚資料2.6点、収容定員に対する閲覧席数率も39.6%となっており、学生の学習にとって必要な環境を整えているといえる。また、学生および教職員は、学校法人近畿大学の相互利用図書館サービスにより、近隣にある近畿大学産業理工学部図書館も利用可能である。

表Ⅲ－10. 図書館の概要

学科	図書 〔うち外国書〕 (冊)	学術雑誌 〔うち外国書〕 (種)	視聴覚資料 (点)	機械・器具 (点)
生活福祉情報科	10,752 〔642〕	37	0	0
保育科	17,265 〔1,335〕	42	0	0
共 通	16,582 〔715〕	50	629	120
計	44,599 〔2,692〕	129 〔0〕	629	120

図書の購入・廃棄については「近畿大学図書調達・管理に関する規程」「学校法人近畿大学物件調達規程」および「学校法人近畿大学経理規程」に基づき、学校法人として統一した購入手続き・廃棄などが行われている(備付資料45,47)。選書については、「中央図書館図書選書実施要項」に準じ、学科会議などを通して全教員に依頼され、図書館運営委員会および図書館職員がその取りまとめを行っている(備付資料45)。その予算は、各学科に適切に配分される。また、図書分類に偏りなく購入できるよう配慮を行っている。くわえて、「講義概要」のシラバス更新に伴い、参考文献は随時購入され、「参考文献コーナー」が設置されている。また、資格取得・就職などのための「就職関係図書コーナー」、通

信教育部に在籍する学生を対象とした「通信おすすめコーナー」など、学生のニーズに応じた参考図書・関連図書の整備に努めている（備付資料 38）。

（b）課題

本学は、校地・校舎ともに「短期大学設置基準」を満たしている。今後は、より充実した教育活動を行うために、障がい者に対応した施設・設備の補充を含めて、現在の物的資源を効率的に運用するシステムを構築する必要がある。

図書館では、書架スペースの確保や学生のニーズに応える参考図書、関連図書について、今後一層の充実を図っていく。

【区分】 基準Ⅲ－B－2 施設設備の維持管理を適切に行っている。

(a) 現状

施設設備、物品管理については、「学校法人近畿大学物件管理規程」「学校法人近畿大学物件調達規程」「学校法人近畿大学経理規程」および「近畿大学資金運用規程」に基づいた処理が適切に行われている（備付資料 47）。

火災対策については「近畿大学防火管理規程」「近畿大学警備規程」が整備されているが、地震対策に対応する規程は整備中である（備付資料 45）。警報ブザー、屋内放送、通報設備、消火栓の動作確認などの防災対策に関わる設備の点検も行っている。さらに、平成 24（2012）年度は火災訓練を 2 回実施し教職員の防災・防犯に対する意識づけを行っている。さらに、外部の警備会社に委託した警備員による 1 日 3 回の学内警備巡回にくわえ、正門、通用門、附属幼稚園に設置した防犯カメラによるモニタリングなどの防犯対策を講じている。また、本学用務員も学内巡回を行い、あわせて校内・校舎・設備の点検を随時行っている。

本学で設置されている全てのパソコンに対してウイルス対策ソフトウェアを導入し、定期的にアップデートを行っている。また、外部からの不正アクセスを防ぐためにファイヤーウォールを設置している。情報処理準備室（サーバー室）は関係者以外入室できないよう常時施錠され、作業・定期点検時のみ入室可能であり、サーバーにログインできる者は限定されている。教職員のパソコンについては ID パスワードの入力にくわえ、個人認証用 USB を差し込まないと起動しないようにし、利用者以外の者が使用できない体制を整え、情報漏えい対策を行っている。

省エネルギー・省資源対策については、①冷房設定温度の 28℃設定、②教室などの消費電力量のモニタ設置、③教職員を対象としたクールビズ・ウォームビズの実施、④教室などへのガラス断熱フィルムの施工など、学校法人近畿大学としての取組を本学でも実施している。また、上記の内容を掲示板や教室などにポスター掲示することによって学生への地球環境保全に関する啓発活動にも積極的に取り組んでいる。

(b) 課題

今後、地震・防犯に関する規程の整備が必要である。本学では、本学のコンピュータシステムへの外部からの不正なアクセスに対し、万全な対策を行っている。また、各自のパソコンに関しても情報漏えい対策が行き届いている。今後とも管理徹底を進めていく。

省エネルギー・省資源対策は、教職員の取組にくわえ、学生への注意喚起、意識啓発をしながら、今後も継続していく。